

第196話 俳諧⑨ 松田未覚のこと その6 中山町歴史散策

延宝8年（1680年）、池西言水選の「俳諧東日記」には、清風（尾花沢）、常之（山形）、未覚（出羽）、柳和（谷地）の句が載せられており、未覚は5句選ばれています。

同じころ、一瀬調実選の「俳諧白根嶽」には、吟水（左沢）、秀勝（大谷）、清風（尾花沢）、未覚（羽州最上）の句が載せられていて、未覚の知名度が高いことを示しています。

続いて、元禄2年（1689年）の未覚、等射の選になる「葱摺」に、
干鯉に姿は棄ぬ師走哉

の句を載せ、元禄3年（1690年）、北村季吟選の歌仙には、いたずらっぽく、「羽州山魅住」の頭文字を付し、未覚子の名を用いています。

弥陀よ釈迦よ葉に希多須の月の仏

五月五日武家にん

武家の軒やしゃうぶ刀によもぎの矢

姉の一周忌

五月雨や袖には止め二年ふり（以下略）

【用語の説明】

池西言水…江戸中期の俳人。奈良の人。江戸で

松尾芭蕉らと交遊。

俳諧東日記…延宝9年（1681年）に出された

とする説もある。

一瀬調実…江戸時代前期から中期にかけての俳

人。甲斐（山梨県）の幕府御用の紙

漉き業者。

※引用…中山町史 中巻 第10章第3節

文芸と美術工芸から

私たち地域おこし協力隊です！ No.62



みなさんこんにちは！地域おこし協力隊の高橋です！

最近スマホよろず相談所でラジオを流しているのですが、皆さんは普段ラジオを聴きますか。

ご存じの方も多いかとは思いますが、スマホで「radiko（ラジコ）」というアプリを使うと無料でラジオを聴くことができます。何かの作業中や時間が空いた時など私はとても重宝しています。イヤホンを持っていれば、周囲を気にせず聴くことができます。普段ラジオを聴かない方からすると関係ないと思うかもしれませんが、個人的には使い方を知っていると、万が一災害などが起きた時の情報収集にとっても役立つと思っています。

あくまでも目安ですが、30時間ほどradikoを聴くと1GB（ギガバイト）の通信量を消費します。そのためあまりにも長時間聴くとスマホの料金が上がったり、通信速度が遅くなったりする可能性があります。たまに聴く分にはとてもおすすめです。

一部有料の機能などもありますので、詳しい内容が気になる方は、「スマホよろず相談所」をお気軽にご利用ください。

高橋 圭哉

出身地：宮城県岩沼市
趣味：けん玉、
アニメ鑑賞



●協力隊への
問い合わせ先●
高橋 ☎662-2223
(総務広報課)